

公益社団法人 私立大学情報教育協会
2020年度第1回短期大学会議教育改革 ICT 運営委員会議事録

- I. 日時 令和2年4月11日(土) 10:00~12:00
場所 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局会議室
- II. 出席者 戸高委員長、三田委員、西岡委員、後藤委員、大重委員、
山野美容芸術短期大学(及川先生)、和泉短期大学(深町先生)、
大阪夕陽丘学園短期大学(治京先生)、別府大学短期大学部(衛藤先生)
*すべてネット(Teams)にて出席
(事務局 井端事務局長、中村)
- III. 検討事項
1. 地域貢献支援事業の詳細計画について
参加校におけるコンソーシアム活動の現状報告を相互確認するとともに、今後の詳細計画について意見交換し、見通しを確認した。
- (1) 高齢者支援事業について
実践女子大学短期大学部は日野市や渋谷区、山野美容芸術短期大学は本庄市と連携する計画について、両校で連絡を取りながら具体的な活動をすべく、参加希望の学生募集等を行う予定であったが、コロナ感染拡大の影響で開始できていない。5~6月に授業が開始できたとしても前期の活動は困難であることから、活動は後期に延期せざる負えない。そこで前期は準備期間と捉え、他の短期大学生も対象に後期に向けた取組みの検討を行いたいとの報告があった。なお、和泉短期大学は相模原市と連携し介護福祉分野を中心に取組みを進める予定としていたが、コロナ感染の影響で実現していないことを踏まえて、当面は実践女子大学短期大学部と山野美容芸術短期大学の2校が先行して取組むことが確認された。
- (2) 地域価値発見支援事業について
大阪夕陽丘学園短期大学は前期に大阪市天王寺区、三重県志摩市などと連携する計画であったが、授業が開始されていないことから、後期に延期する通しとなっていることが報告された。なお、別府大学短期大学部は、大分県佐伯市の高校と連携する中で将来的には地元自治体とも連携する構想が計画されていたが、高校との取組が見通せない状況から、今年度は大阪夕陽丘学園短期大学の取組みを中心に進めていくことが確認された。
- (3) 地域課題取組情報共有の支援事業について
上記2つの支援事業の具体的な内容とスケジュール等を決定した後に、参加校全体で情報共有を進める。その上で改めて2つの支援事業への参加を打診することが確認された。
2. 高齢者支援事業、地域価値発見支援事業の試行スケジュールについて
以上の詳細計画に向けた今後の進め方の意見を踏まえ、前期での試行は断念し、後期に延期することが確認された。また、本年9月に実施予定していた「短期大学教育改革 ICT 戦略会議」での報告ができないことから、会議自体の開催を中止せざるを得ないことが確認された。併せて、後期の試行に向けたスケジュールについて、以下の方向で進めることを確認した。
- * 6月第2週：高齢者・地域価値発見支援事業の参加校としての具体的な取組み計画決定
 - * 7月第4週：具体的な取組み計画に対するコンソーシアム活動の確認・調整
 - * 8月第2週：プラットフォームの構築と試験運用の開始
 - * 9月第3週：支援事業試行開始
 - * 10月第3週：支援事業試行経過の確認
 - * 11月第4週：支援事業試行経過の確認
 - * 12月第4週：支援事業試行結果のとりまとめ
- なお、以上のスケジュールの中で、可能な限り地域自治体との連携について事前に打診を進めるとともに、高齢者による体験談の映像を自治体の Web に掲載することの可能性について、事前に参加短期大学と自治体との間で調整しておくことが確認された。
3. その他(次回委員会の日程)
次回も Teams を使ったネット会議とし、6月9日(火) 17時にコンソーシアム参加校とともに地域貢献支援事業の詳細計画について、確認を行うことにした。

以上